

2015 年度 Seattle 派遣学生体験記**コミュニケーションを通じて刺激を肌で感じた 1 週間！**

機械工学科 2 年 竹中 蓮太郎

今回のシアトル派遣プログラムは、僕にとっても二度と体験出来ないような、さまざまな経験ができました。僕はこのプログラムではリーダーをしました。そのこともあり、「プログラムが無事に成功するのかな」とか「英語でコミュニケーションがとれるか」など、とても不安だらけでした。しかし実際にシアトルへ行くと、ホストファミリーが暖かく迎えてくれ、僕にあわせて英語を話してくれ、一週間という短い期間の中でたくさんのコミュニケーションをとることができました。

僕はその一週間でボーイングの工場、マリナーズ試合観戦、学校訪問、博物館など、様々な場所を訪れました。



特に機械工学科の僕にとってボーイングツアーはとても興味深く、貴重な経験となりました。そして、日本と一番違うと思ったのはコミュニケーションの多さです。少しのことでも、すれ違った人、スーパーのレジの人などと友達のように話していました。僕は今までにない刺激を受け、また日本との細かい違いなど自分で肌で感じる事が出来ました。

今回のシアトル派遣プログラムに参加出来たことは、僕にとっての大きな財産になると思います。今回のプログラムの関係者ならびに手助けしてくださった先生方、神戸アンバサダーみんなに感謝したいです。

ホストファミリーといろいろな経験を共有できた 1 週間！

電気工学科2年 中原 智裕

僕はこのシアトル派遣を通じてたくさんのことをまなぶことができました。

そしてたくさんの思い出を作ることができました。

僕のパートナーはエリックでした。彼とはランニングやアメフト、スケートボードをしました。彼の家族も一週間ずっと優しく接してくれました。家族とはメキシコ料理を食べに行ったり、プロのアメリカンフットボールの試合を見に行きました。



僕はホストファミリーに「漢字とカタカナとひらがなの使い分けはどうするの？」と聞かれた時には答え方にすごく悩みました。日本語に興味を持ってくれて、いろいろな質問を受け、僕にとってもいい経験になりました。

僕はこの1週間でさまざまな場所に行きましたが、特に印象に残っている場所はボーイングの工場見学です。僕たちはVIP扱いで普段では入れないところにも入れてもらい、製造中の飛行機をすごく近くで見学することができ、またテストフライトの飛行機も見ることが出来ました。とても貴重な体験をさせていただきました。

積極的なコミュニケーションの大切さを実感した1週間！

応用化学科2年 橋本 碧維

私はシアトル派遣プログラムで本当に多くのことを学ぶことができました。

例えば、自分から積極的にコミュニケーションをとることの大切さや、ときにわからない単語が多かったのもっと英語を勉強することが必要だと思いました。

私にとって初めての海外だったので、驚くこともたくさんありました。

特に印象に残っているのは、アメリカでの BBQ は日本のような焼き肉ではなく、ハンバーガーを作って食べたことです。他にも学校に生徒が車で通ったり、シアトルに日本の企業がたくさんあることに驚きました。ボーイングでは普通の観光では入れないところまで見学できたので、とても貴重な経験になったと思いました。それ以外にもチフリーガーデン、神戸ベル、パイクプレイスマーケットなどに行きました。どれも楽しくて、とてもいい時間を過ごせたと思います。



でも私にとってホストファミリーと過ごした時間が一番の思い出です。テレビゲームやトランプなどで遊びました。ルールの説明が難しかったですが、わかってもらえたときは嬉しかったです。

最後にホストファミリーに感謝をしたいと思います。この経験は私にとって素晴らしいものとなりました。引率して下さった先生方、一緒にシアトルに行った9人のメンバーやこのプログラムを支えて下さったたくさんの方にも感謝したいと思います。



国際協働研究センターのページには他にもホームステイ受け入れの体験記なども掲載されていますので是非ご覧下さい。

<http://www.kobe-kosen.ac.jp/kokusai/#taikenki>